

会議録

会議の名称	第6回 新座市立地適正化計画 策定検討会議	
開催日時	2025年9月19日(金) 14時00分～15時00分	
開催場所	市民会館2階 第2会議室	
出席者氏名 (委員)	本間 健悦	大和田一・二丁目町内会（北西地域代表）
	川上 政則	北野一・二丁目町内会（北東地域代表）
	大橋 鉄二郎	あたご三丁目町会（西部地域代表）
	山崎 正明	馬場一丁目町内会（中央地域代表）
	森田 昌直	新堀二丁目自治連合会（南西地域代表）
	清水 由紀子	道場町内会（南部地域代表）
	山野辺 範一	新座市商工会 専務理事
	小瀬 博之	東洋大学情報学部総合情報学科教授
	中村 仁	芝浦工業大学システム理工学部環境システム学科教授
欠席者氏名 (委員)	大戸 栄次	新栄町内会（東部地域代表）
	竹之下 力	新座市社会福祉協議会事務局長
	中村 仁	芝浦工業大学システム理工学部環境システム学科教授
	小嶋 文	埼玉大学大学院理工学研究科准教授
事務局	まちづくり未来部都市計画課 課長	伊藤 [司会]
	まちづくり未来部都市計画課 副課長	金子
	まちづくり未来部都市計画課 係長	加藤
	まちづくり未来部都市計画課 主査	佐藤
	まちづくり未来部都市計画課 主任	下室
議題	防災指針について	
会議資料	新座市立地適正化計画防災指針	

(会議の要旨)

発言者	発言内容・決定事項の要旨
	1. 開 会
[事務局説明]	<p>2. 議 題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第5回資料の修正点の確認
	(意見なし)
[事務局説明]	<p>2. 議 題</p> <p>1-6 防災まちづくりに向けた取組の方針と内容及びスケジュール</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・内水対策について、市役所に雨水流出抑制のオープン施設が設けられており、944 m³貯留できるということだが、どこに設置されているのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・市役所の駐車場の下に設けられている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・P.62 の地震に関する取組において無電柱化について触れられているが、阪神淡路大震災のことを思い返しても、無電柱化の重要性を感じるところであるが、シンボルロード以外の重要な道路について計画は無いのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・無電柱化についてはいくつか方法があり、もちろん地下埋設という方法もあれば当該道路の奥まった場所に設置するという方法もある。市の計画ではないものの、栗原や新堀を通過する放射7号線や、都市計画道路保谷朝霞線が無電柱化実施の方向で動いている。そのほかに、まだ可能性という段階であるが、都市計画道路ひばりヶ丘片山線（ひばり通り）についても検討されている。基本的には、土地区画整理事業など新たな市街地整備を行う際に、順次進めていくこととなる。それ以外の路線については状況を見ながらということになる。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急輸送道路に関しては、無電柱化は当然であるが、沿道の建物の倒壊ということも問題となってくる。その点について対策は検討しているのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・その点についても、P.8 の（4）旧耐震基準建物分布でリスク分析し、壊れやすさ等についても見ている。県の指定する緊急輸送道路付近で新耐震基準による建築物のうち、問題のある建物は、今のところは1棟のみということなので、緊急輸送道路が完全に塞がれるような事態は起きないと考えられる。耐震に関しては市でも助成を行っているので、引き続きそのような対策に努めていく。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・先日の大雨により、あたご三丁目付近で道路冠水が起きた。市の下水道課に問い合わせると、本市は50 mm/h の雨には対応しているということだが、同じ時間帯に清瀬や東久留米では80~90 mm/h の降雨であった。自宅の方

発言者	発言内容・決定事項の要旨
	でも 40～50 cm冠水していた。東京都では 75 mm/h 対応の雨水管に順次交換していくという話を聞いたが、新座市ではそのような対応は検討されているのか。
事務局	・本市の「雨水管理総合計画」においては、雨量を 55 mm/h と 60.5 mm/h の 2 段階で設定している。P.27 内水被害及び重点対策地区等の指定状況の図面で赤の斜線で示しているエリアが現時点の重点対策地区であり、60.5 mm/h に設定している。また、先ほどもお話しした志木街道の雨水管の整備というのもこの計画に基づいて進められている。ただ、今は赤い斜線のエリアに入っていない大和田などでも被害が出ているということから、府内で雨水浸水対策検討会議を立ち上げ、今後検討を進めていくことになっている。先ほどお話しいただいた 75 mm 対応の雨水管などについてはこれから検討項目となる。
事務局	・そのほかに意見はあるか。
	(意見なし)
[事務局説明]	<u>3. その他</u> *今後のスケジュールについて
	<u>4. 閉会</u>

以上